

要 点 録

会議の名称 第3回田村駅周辺整備基本構想推進会議

開催日時 平成29年10月26日(木) 午後1時30分～午後3時30分

出席者

仁連 孝昭	滋賀県立大学 名誉教授
綺田 新	田村町自治会 自治会長
辻村 忠嗣	田村町まちづくり委員会 委員長
井 経子	社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長
川崎 他家廣	長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役
本田 智見	一般社団法人長浜青年会議所 新湖北創造委員会 副委員長
松本 秀章	滋賀文教短期大学 副学長
若林 浩文	長浜バイオ大学 理事長
伊藤 寿彦	六荘地域づくり協議会 総務部長

欠席者

畑下 嘉之	社会福祉法人青祥会 理事長
西嶌 照毅	滋賀県長浜土木事務所 所長

(敬称略)

事務局(長浜市)

長浜市都市建設部：米澤部長 中川技監

長浜市都市建設部都市計画課田村駅周辺整備室：嶋田課長兼室長 塚田副参事 山口主幹

会議概要

1 開会

会議を公開とすることについて報告

2 あいさつ

長浜市都市建設部 米澤部長

3 第2回推進会議の結果について

第2回要点録で結果を報告する。

4 議事

1) 田村駅周辺都市施設の整備(案)について

－ 事務局から説明 －

2) 田村駅を中心とするまちづくりビジョン(案)について

－ 事務局から説明 －

3) 主な質疑、意見等(○：アドバイザー、・：参加者、→：事務局)

■田村駅周辺都市施設の整備（案）について

<駅舎構造の比較について>

○地平駅案では折り返し階段、橋上駅案では直階段となる理由を教えてください。

→折り返し階段でも直階段でも可能だが、地平駅で施設を配置するにあたっては、設計上、折り返し階段が有効であると考えている。

<田村駅乗降客数について>

・JRは地平駅にという思いのようだが、将来の南長浜におけるまちづくり計画と想定人口（利用者数）を説明しているのか。

→JRによれば、駅利用者数と駅の構造には関係がないという話であった。想定利用者数については、市で実施している田村駅利用者調査の結果を受けて決定していく。

<駅機能について>

・駅を島式ホームにすることは出来ないか。その場合、外側の敷地を有効活用でき、EVの数も3台で済むのではないか。

→鉄道施設なのでホームの形状については今後JRと協議していくことになる。なお、地平駅案であると、EVは2台で済むことになる。

・複合施設についてはどのようなものを考えているのか。

→橋上に作ると費用がかかるので、自由通路上に施設は考えていない。駅周辺に必要な機能を想定し、地上に作ることを考えている。駅前広場にはバスターミナルや歩行者用シェルターも検討していきたい。どのような施設にするかは、学生を含めたワークショップ等で意見を聞いていきたい。

・西口、東口の外観はどうなるのか。また、有人駅になることはあるのか。

→作り込みの話となり、現在は未定だが、長浜バイオ大学やドームのある西口、駐車場や生活利便機能を持たせた東口と、それぞれの特性にあった周辺整備としていきたい。JRの社員配置は難しいと考えられる。人の設置については、必要に応じ要望していく。

・駅の西口、東口とは言わずに例えば、「伊吹山口」、「琵琶湖口」としてほしい。

→今後、JRと協議し、検討する。

<予算について>

・地平駅案は立派さがないのではないか。100年先のような将来のことを考えて、田村駅を南長浜の出入り口となる立派な駅にして頂きたい。市の予算については、どれくらいを想定しているのか。

→和木駅は立派な駅という印象を受けた。地平駅や橋上駅といった形状がどうであれ、中身を伴うことはできるため、中身のご意見をいただき、魅力ある駅にしていきたい。予算については未定で詳細が決まってからの提示となる。

・整備の負担については、改札内はJR、改札外は市となるのか。

→長浜市から要望を出す分については、市の負担割合を協議しなければならないと考えられる。他市の事例を見ると、必ずしも改札内はJR負担というわけではない。

<ワークショップについて>

・ワークショップの具体的な内容については決まっているのか。

→会場等の詳細は決まっていないが、参加者は駅利用者、バイオ大学・滋賀文教短期大学の学生さん等を想定している。そこで出た意見を駅前広場、施設等についてまとめ、推進会議にもお出ししたい。

- ・現状では駅利用者は学生が多いと思うが、今後駅の周りに住宅が増えるのであれば、子育て世代等の意見を聞くことも必要ではないかと思う。
→幅広い世代の意見をお聞きすることができるよう、工夫していく。

<駅利用者増の取組について>

- ・駅利用者を増やす取組は行っているのか。
→横断幕による啓発等を考えている。ドームで行われるイベントがかなり多く、その際に田村駅利用を宣伝することも重要であると考えられる。
- ・ビジネスメッセのようにドームでのイベントの際には、15分間隔で電車に乗れるよう臨時電車を出すのがよいと思う。そうすれば米原駅からバスを出す必要がなくなる。

<駅の整備について>

○駅の構造そのものより、周辺を含めたどのような駅を作っていくかが大事であると思われる。最も重要なのは安全であり、ホーム拡幅とバリアフリー化、ホームと電車の段差解消が第一である。次に重要なのは駅が人の集まる施設になっていることであり、駅周辺を含めた利用しやすい施設づくりを進めていくべきである。地平駅案はエレベーターが少なくて済むため、その分の予算を他に使える意味で良い案であると思う。
→今後 JR と協議する上で、安全確保を第一としつつ、駅周辺の施設整備も含めて話し合いを行っていく。本日頂いた意見としては、橋上駅でなくてもよいので、魅力ある駅及び駅周辺整備としていくものであったと理解している。

■田村駅を中心とするまちづくりビジョン（案）について

<田村山の整備について>

- ・田村山の整備方針を教えてほしい。風致公園の整備は記載できないのか。
→散策道をまずは手掛けたい。風致公園は次のステップとして、内容を地域の皆さんと精査していきたい。

<都市計画道路の整備について>

- ・高橋町の都市計画道路が曲線半径の大きいカーブとなっているのはなぜなのか。国道8号線と湖岸道路を結ぶ考えはないのか。
→曲線半径の大きさは道路構造令によるものである。国道8号から湖岸道路までを直線で結ぶには、JRのアンダーを通る必要があり、課題がある。提示している図は駅前広場を終着点とするものであり、そこから県道加田田村線を通じて湖岸道路への接続をイメージしている。
- ・人口流出のダム化だけでなく、米原や彦根からの流入を目指すのであれば、南長浜圏域のより大きな視野で道路ネットワークを考えるべきである。
→田村駅周辺整備ということで本日の資料ではこの範囲となっているが、道路整備については都市計画マスタープラン等で広い目線で考えていく。
- ・都市計画道路の南側が県道に接続せずに途中で切れているが、この先は整備済みであ

るという考えか。

→これより南側は歩道等の整備が一定なされている。

<駅前ロータリーの整備について>

- ・駅前広場に整備するロータリーの形を示してほしい。駅前広場のために駐車場を縮小するとすればどの程度か知りたい。
 - ・住宅整備においても道路整備との連携が必要である。駅周辺のイメージを示してほしい。
- 土地区画整理事業として、道路と住宅は一体的に考えていく方針である。ロータリーのイメージについては、次回の推進会議で事務局案を提示する。

<駅周辺の休憩用スペースについて>

- ・ドームでスポーツ大会のあった帰りに、セブンイレブンで休憩していく学生をよく見る。田村駅にもそのようなスペースがあった方がよい。
- 休憩用スペースは、駅周辺に作ることを考えている。そういった機能がどこにあるとよいかを検討していく。
- ・田村辻町公園が遊休地状態となっており、何かに活用できればと思う。
- 湖岸道路と田村駅を結ぶオープンスペースとして、仕掛けの中で活用方法を考えていきたい。

<駅周辺のまちづくりについて>

- ・田村の自治会としては、まずは駅周辺に公共施設整備を進めていただき、次に周辺の空地の整備を行ってほしい。
- 市としても駅周辺の公共整備を進めることを最優先としていきたい。

○田村駅周辺のまちづくりを進めていくうえで、西側と東側の性格の違いを考慮する必要がある。東側は住宅と商業施設の充実が必要であるが、卸売市場は特殊な商業施設であり、市場を取り込んだ、利便性を向上させる施設が必要である。西側はドーム利用者やバイオ大生が滞留できる場所が必要であり、湖岸道路からの利用も見込める飲食機能等が良いのではないかと考えている。企業、大学とも協力して地域を盛り上げていくことが必要である。

→駅前広場の形状と複合施設案を次回の推進会議で提示する。

・駅施設と駅前広場機能の検討のため、推進会議の実施回数を1回増やし、計6回行うこととした。これに伴い、基本計画（案）の策定を3月末から4月末に変更とする。

・JR から基本設計の検証を1年かけて実施したいと依頼があり、工事完了時期が平成33年度の予定から平成34年度になる見込みです。

以上